

東京

動画リンク: <https://youtu.be/w2eC0Tlf-BE>

今回は「東京」について学びながら、日本語を勉強していきましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字にはふりがながあります。

後半は少しだけ速くなり、漢字にふりがなはありません。

学習にお役立てください。
東京にはいろいろな顔があります。

東京は日本の首都であり、日本でもっとも人口が多い都道府県でもあります。
それだけではありません。

東京は日本の経済の中心であり、政治の街、文化の発信地、国際都市でもあります。

そして、豊かな自然もあります。

都市戦略研究所という団体の調査によると、東京は世界の都市総合ランキングで、ロンドン、
ニューヨークに次ぐ3位でした。

4位はパリ、5位はシンガポールです。

東京にはなんでもあります。

日本全国のもものが東京で手に入ります。
さらに、サービスも情報もお金も東京に集まるので、人も集中します。

東京は日本のミニチュアといえるので、「日本を知りたい」と思った外国の人は、東京を歩いてみ
るとよいかもしれません。

ただ、東京に人やものが集まりすぎることが社会問題になっていて、これを、「一極集中」といいま
す。

ここでは、東京のみりよくと欠点を紹介します。

■ 東京は日本でダントツの都市

日本人も外国の人も「東京はすごい」と言いますが、そのすごさは「少しすごい」のではなく「ダン
トツですごい」のです。

「ダントツ」というのは「断然トップ」の略語で、

日本人はよく使う言葉です。

断然トップとは、2位以下を大きく離して、明らかな1位という意味です。

日本の人口は、1億二千七百万人で、都道府県は47個ありますが、そのうち10%の千二百七十六万人が東京都に住んでいます。

東京都のとなりの神奈川県は人口は888万人で、日本全体の人口の7%です。

人口は全国47都道府県で2位です。
埼玉県の人口は709万人で、日本全体の人口の6%です。

人口は全国47都道府県で5位です。

東京都、神奈川県、埼玉県。
この3つの1都2県で日本全体の人口の23%を占めます。

東京のお金を稼ぐ力はとてもすごいです。
東京都の都道府県別GDP(都道府県内総生産)は、1年間109兆円です。

109兆円と言われても、大きすぎてどのくらいすごいかわかりづらいですね。

日本の国全体のGDPが1年559兆円なので、その20%を占めていると聞けば、それがどれだけすごいことか伝わるとおもいます。

都道府県別GDPで2位の大阪府でも、年40兆円しかありません。
国全体の7%どまりです。

東京はたくさんの人を集めて効率よくお金を稼いでいます。

自治体としての東京都の年間予算は8兆円で、政府の年間予算、110兆円の14分の1です。
東京は行政サービスのコストも破格です。

■ 東京は5つにわけて把握しよう

東京はニューヨークと、カリフォルニアと、ワシントンDCと、ロンドンとパリを合わせて小さくしたような街で、とても複雑です。

東京は複雑なので、この街を知りたいときは
5つの地区にわけて1つずつ確認したほうがよいでしょう。

5つの地区はまず「23区」「都下(市町村)」「島」の3つにわけてから23区を「ビジネスと政治の街」「遊びの街」「静かな街」に分けます。

「都下」、というのは東京都の23区以外の地域を指します。

東京の23個の区は、特別区といい、市町村と同格の自治体で、区長はせんきよでえられます。

ちなみに、大阪市などの区は単なる地名です。

23区は、アイウエオ順に 足立区、荒川区、板橋区、江戸川区、大田区、葛飾区、北区、江東区、品川区、

渋谷区、新宿区、杉並区、墨田区、世田谷区、そして
台東区、中央区、千代田区、豊島区、中野区、練馬区、文京区、港区、目黒区です。

■ その1、ビジネスと政治の23区

「ビジネスと政治の23区」の、千代田区、中央区、港区、品川区、江東区、大田区の、6区を紹介
します。

日本の中心地は中央区ではなく千代田区である、といえるのは
皇居、東京駅、国会議事堂、首相官邸、最高裁判所があるからです。

千代田区には日本の代表的な大企業の本社がある、丸の内や大手町があります。

この街で働くことはビジネスパーソン目標の一つです。

財務省や経済産業省などの国の行政機関がある霞が関も、大きな政党がある永田町も、千代田
区です。

千代田区には遊びの要素もあります。

世界的なおたくとエレクトロニクスの街、秋葉原があります。
AKB48やメイドきさが有名です。

中央区には東京証券取引所がある兜町や、高級デパートの日本橋、高級ブランドの銀座があり
ます。

リッチな人が買い物に集まります。

これだけ買い物に便利だとふゆう層が中央区に住みたがるので、タワーマンションがたくさん建
ち、高級住宅街もあります。

富裕層というのは、お金をたくさん持っているリッチな生活をしている人たちのことです。
セレブたちは港区も大好きです。

六本木ヒルズや東京ミッドタウン、東京タワー、お台場、芝公園といった商業施設や伝統的施設
があります。

ちなみに、欧米で「セレブ」といえば、お金持ちな有名人を指すことが多いですが、
日本で言う「セレブ」は単なるお金持ちの人を指すことが多いです。

港区内の青山、六本木、麻布十番、白金台といった地区はブランド化されていて、高級外車をよ
く見かけたり、高級レストランがたくさんあります。

港区には、アメリカ、ドイツ、フランス、イタリア、カナダ、韓国、オーストラリア、中国、ロシアなど
の大使館があり国際的なエリアです。

品川区にはとても高いビルが立ち並び、一大ビジネス街を形成しています。
江東区には、日本中の海産物が集まる豊洲市場があります。

東京ビッグサイトは日本最大のコンベンションセンターで、見本市が開かれます。

江東区も場所によっては高級エリアという見方もできますが、それでも港区や中央区と比べると土地が安いので、マンションが建つなど再開発が進んでいます。

大田区には羽田空港があり、その近くに先端医療や自動運転などを研究する、羽田イノベーションセンターがあります。

大田区には三千五百もの工場があり、それが「モノづくりの街」と言われる理由です。ロケットに使う部品を作っている会社もあります。

国内有数の高級住宅街でありセレブの街、田園調布は大田区にあります。

■ その2、遊びの23区

「遊びの23区」にえらんだのは、新宿区、渋谷区、台東区、墨田区、豊島区、中野区、世田谷区、葛飾区の8区です。

新宿区にはデパート街やエンタメ施設、外国料理店街があり雑多な印象があります。新宿御苑は自然豊かな公園で落ち着けます。

新宿区の歌舞伎町は日本最大の歓楽街で、飲食店だけで千五百軒あり、遊技場や風俗店などもたくさんあります。

「24時間眠らない街」と言われています。

新宿区には東京都庁があるので行政、ビジネス、政治の要素もあります。渋谷区の渋谷、原宿、恵比寿、表参道の各エリアは、遊びとファッションの街です。同じファッションでも銀座よりリーズナブルです。

渋谷駅前、スクランブル交差点は、1回の青信号で千人が一気に渡ることがあります。「世界一混雑している交差点」として知られています。

渋谷区には、グーグル、GMO、サイバーエージェント、DeNAなどのIT企業の本社があります。ビジネスの要素が濃い街でもあります。

台東区には浅草寺と雷門が象徴する下町が広がっています。下町とは庶民の街のことです。

伝統工芸の店もたくさん残っています。

台東区にはパンダがいる上野動物園や東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館、東京都美術館があり「知」の街です。

台東区には人の渋滞が起きる アメ横商店街や仲見世通り、懐かしい遊園地の浅草花やしき、落語の浅草演芸ホールがあり 一日中遊べます。

日本で一番高い建物、スカイツリーは墨田区にあります。

墨田区には隅田川と荒川があり遊覧船に乗ることもできます。
墨田区は伝統工芸の街で、漆塗り製品、人形、染め物、革細工、表具、足袋、屏風、ガラス製品などを製造・販売しています。

相撲の聖地、両国国技館は 墨田区 横綱一丁目にあります。
住所に「横綱」が入っているのです。

横綱とは相撲の力士の中で最高位です。
相撲は江戸時代からありますが、江戸時代から今日(2024年6月まで数えても 73人しかいません。

両国国技館は、1万人を収容でき、コンサートにも使います。

豊島区のアミューズメントは派手さがなく落ち着けます。
サンシャイン水族館は40年以上の歴史があり、劇場や、演芸場もあります。

豊島区の巣鴨地蔵通り商店街は日本の伝統的な小売店を体験できます。
巣鴨には 塩大福の発祥のお店「みずの」など、おいしい和菓子屋も多いのでぜひ散歩してみてください。

池袋はアニメとマンガの聖地で外国人オタクも多数訪れます。

アニメ、漫画では中野区も負けていません。
中野ブロードウェイはアニメやマンガの関連グッズがたくさん売られていて、それほど大きくないこの店に年間一千万人が来店します。

中野区は23区のなかでは土地が安く、住宅街が形成されています。

ちょっと気取った暮らしがしたいのなら世田谷区がおすすめです。

二子玉川と自由が丘は中間所得層より上の人たちに人気の地域です。
世田谷区には大きな施設はありませんが、カフェや公園、高級レストランが充実していて、休日をスタイリッシュにすごすことができます。

近くには多摩川という川があり、たくさん散歩することができます。
また、花見の季節には多摩川沿いにたくさんの桜が咲いてとてもきれいです。

葛飾区は寅さんと両さんの街として知られています。
映画「男はつらいよ」と、マンガ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の舞台でした。
「こちら葛飾区亀有公園前派出所」は、長いために「こち亀」と呼ぶ人が多いです。

こち亀は40年間で、1億5,000万部売れました。
日本の人口は1億2,700万人なので、国民1人がこち亀を1冊以上みている計算になります。
知らない人はいないくらい日本では有名なマンガです。

昔ながらの東京を体験したいなら葛飾区です。

矢切の渡しは、川の対岸まで小さな舟で行きます。

柴又では草団子を食べみてください。

草団子というのは日本の伝統的な和菓子です。

よもぎという植物の香りがするお餅で、中にはたっぷりの甘いあんこが入っています。

葛飾区の水元公園は23区内でもっとも大きな公園で、かつて水産試験場があったほど水に恵まれています。

バーベキューもできます。

■ その3、静かな23区

23区でも静かに暮らせるのは、杉並区、文京区、足立区、目黒区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、江戸川区の9区です。

杉並区の善福寺公園は東京都が管理する施設で、大きな2つの池と豊かな林が見所です。地味ですが飽きづらいため、住民に愛されています。

杉並区は23区の端にあるのに、大都市・新宿に近いので住むのに便利です。

長く住んでいる人はこの地域に誇りを持っています。

文京区には 日本人なら誰でも知るものが2つあります。

一つ目は東京大学。

キャンパスがある本郷という場所は 頭が良さそうな若者がたくさん歩いています。

文京区の2つ目の目玉は、静かさから離れるのですが東京ドームです。

プロ野球の試合や有名外国人のコンサートが開かれます。

谷根千は谷中(台東区)、根津、千駄木(文京区)の3つの街の総称です。

谷根千は古い町並みや記念館、美術館があり、そこにオシャレなカフェが出店して、静かに散策できる街になりました。

とても良い感じの街です。

はっきり言って 足立区にすごさはありませんが、だから良いんです。

安く住むことができるので 東京で成功を狙う若者が多くいます。

目黒区は アートの街で 音楽、美術、建築の関係者が多くいます。

アートイベントも開催されます。

東京大学の駒場キャンパスもあります。

目黒川沿いの道に約800本の桜(ソメイヨシノ)が植えられていて、春は花見をする人で大混雑します。

北区は23区のなかで目立たない存在でしたが、赤羽が住みやすい街として見直されて、近年とても人気のエリアになりました。

赤羽が住みやすいのは、都心部にも地方にもアクセスがよく、荒川、墨田川、新河岸川が流れていて、立派な商店街があるからです。

荒川区の日暮里は繊維の街といわれ、洋服や和服の生地や織物を売る店がたくさんあります。

荒川区が俳句の街と呼ばれるのは、俳人の松尾芭蕉、小林一茶、正岡子規に関連した場所があるからです。

板橋区の植村冒険館は、日本人で初めてエベレストに登頂した、故、植村直己さんの冒険の歴史がわかる施設です。

都会の生活に疲れたら、板橋区立美術館、東京大仏がある乗蓮寺、ポニーに触れる板橋こども動物園を巡ってみてはいかがでしょうか。

牧野記念公園、石神井公園、光が丘公園、武蔵関公園、四季の香公園、平成つつじ公園など、練馬区には小さな公園がたくさんあります。

江戸川区にある葛西臨海公園は 東京湾に面していて、海の風が漂う気持ちの良さが人気です。

東京ドーム17個分の広さがあり、23区内で2番目の大きさです。

葛西臨海公園は無料施設がたくさんあって リーズナブルに楽しめます。

有料ですが 観覧車は日本一の大きさです。

ディズニーランドは目の前にあります。

■ その4、都下(都の市町村)

都下は東京都の管轄下という意味で、23区以外の都の市町村のことを指します。

26の市、5つの町、8つの村があります。

都下は「東京だけど23区じゃない」というネガティブな意味で使われることもありますが、実は魅力がたくさんあります。

八王子市は新宿まで電車で40分。

車なら富士山まで1時間、群馬県のスキー場まで2時間、湘南の海まで40分という好立地にあります。

23区というブランドを気にしなければ、八王子市は最高の東京といえるかもしれません。

アウトレットモールも 自然も 大病院も グルメもたくさんあります。

八王子市の高尾山は都心に近く、天狗伝説という話題性があり、標高599mという手軽さから 家族連れや 登山初心者に大人気です。

秋には紅葉がとてもきれいです。

青梅市の山岳地域は東京であることを忘れるはずです。

みたけさん(標高929mは 7段の滝や湧水、樹齢千年のケヤキなど見所がたくさんあります。

■ その5、島

東京都には 伊豆大島や八丈島などからなる 伊豆諸島と世界自然遺産の小笠原諸島があります。
東京には世界レベルの自然があるのです。

小笠原諸島の父島にはフェリーでしか行けず、片道24時間かかります。
それでも行く価値は十分あります。
なぜなら父島の自然が素晴らしいからです。

サンゴ礁、イルカ、クジラ、ウミガメをみることができます。
父島は東京から千kmも離れているので、長らく開拓されず、動植物は独自の進化を遂げました。
小笠原諸島には小笠原諸島にしかない生物がたくさん存在します。

ただ、小笠原諸島には飛行機では行けないので、東京の人にとっては沖縄のほうが「近い島」なのです。

■ 国際都市、Tokyo

東京の経済は日本の経済を引っ張っています。
東京は国際金融都市になることで効果を全国に広げ日本を成長させようとしています。

都の国際都市戦略プロジェクトは、世界のビジネスの拠点になり、外国人とつながる場所になり、国際人を育成することを目指しています。

世界の都市総合ランキングで東京が3位になれたのは 居住、研究、文化の各分野が良かったからで、経済分野は10位でした。

■ 東京に人やものが集まりすぎるとい社会問題

東京が成長したから日本経済は強くなりました。
日本人、モノ、カネを1カ所に集中させたので効率よく経済を強くすることができました。

しかし、東京に人やものが集まりすぎると、いろいろな問題が起きます。
東京だけに集中することが、社会にとって良くない影響を与えています。

東京にばかり人やものが集まる問題のもとには、東京の狭さがあります。

東京は日本の47都道府県の中で45番目に狭く、日本全体の0.5%しかありません。
日本の面積の0.5%しかない東京に、日本の人口の10%が集まっています。

だから、渋滞や大気汚染、住宅不足、ゴミの問題、土地が高くなるといった問題が起きています。

2050年代までに東京で大きな地震が起きる確率は 70%です。
最悪の場合、2万3,000人が亡くなり、損害は95兆円にのぼるかもしれません。
東京に人やものが集まりすぎた結果です。

東京に人やものが集まりすぎると、死者や経済被害も増えますが、それでも東京の開発はどんどん進み、人やお金も増え続けています。

東京に人やものが集まりすぎたことで、地方の発展が遅れました。
地方の人たちは、良い仕事があり楽しい都会を目指して東京に行ったのです。

政府も東京に人やものが集まりすぎることを問題だと思っています。

それで、テレワークを使って地方に住むことや地方の良い生活を宣伝していますが、あまり効果は出ていません。

国は首都の機能を地方に移そうとして、国会議事堂を栃木県に移すことを考えましたが、その計画はなくなってしまいました。

■ 東京の歴史は江戸から始まった

なぜ 首都が東京にあるのでしょうか。
昔は京都が日本の首都でした。

そのため、京都には綺麗で大きな古い建物がたくさんあります。
首都を東京にしたのは徳川家康です。

家康は1603年に征夷大將軍になり、江戸幕府を開きました。
征夷大將軍とは、昔の日本でとても強い力を持っていたリーダーのことです。

江戸は昔の東京の名前で、幕府は政府という意味です。

しかし、天皇は京都にいたので、当時は国の中心地が2つありました。
江戸時代が終わり、明治時代になると、天皇が東京に移ってきました。

天皇とは、日本の王様のような存在です。

これで東京が「本当の唯一の首都」になりました。

東京の自治体の名前は、最初は1868年に東京府と名づけられました。
1889年には東京市に変わり、1943年に東京都になりました。

「東京」は、いかがでしたか？

今後の動画制作に活かしますので、感想を是非コメント欄から教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

